

高知県感染症発生動向調査（週報）

2022年 第7週 （2月14日～2月20日）

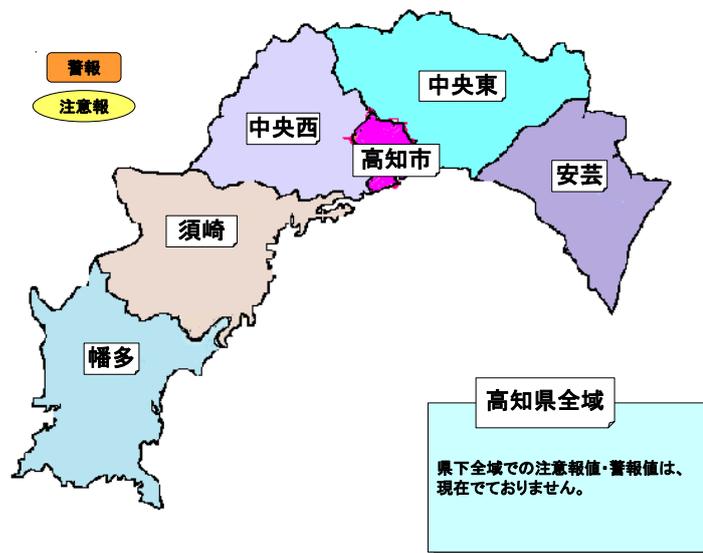
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	4.39	中央東、須崎で減少していますが、中央西、幡多、安芸で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	0.32	県全域、中央西、須崎で急増、高知市で増加しています。
咽頭結膜熱	↑	0.25	県全域、高知市、幡多、中央西で急増しています。
突発性発疹	↗	0.25	幡多で急減していますが、須崎、中央東で急増、県全域、高知市で増加しています。
水痘	↗	0.07	高知市で急増、県全域で増加しています。
手足口病	↑	0.07	県全域、中央東で急増しています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

感染症予防の基本は手洗いです

- ・ 爪は短く切っていますか？
 - ・ 指輪・時計ははずしていますか？
 - 1) 石けんを泡立て、手のひらをよくこすります
 - 2) 手の甲、指の間や指先、ツメの間まで丹念にこすります
 - 3) 親指をねじり洗いし、手首も忘れずにあらいます
 - 4) 石けんを洗い流し、清潔なタオルで拭き取って乾かします
- 汚れの残りやすいところも丁寧に：指先、指の間、爪の間、親指の周り、手首、手のしわ
タオルの共有は避けましょう



★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○感染性胃腸炎に気を付けて！

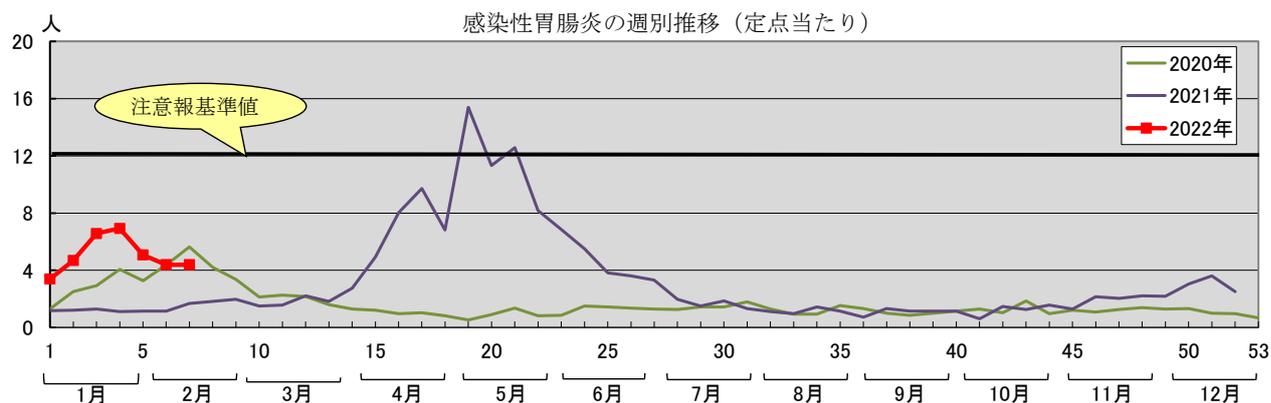
定点医療機関からのホット情報ではノロウイルスやロタウイルスなどウイルスによる感染性胃腸炎が報告されています。

この病気は、ウイルス又は細菌などの病原体により嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。

潜伏期は、ノロウイルスは12～48時間程度、その他のウイルスは24～72時間程度、細菌は数時間～5日程度です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1年を通じて発生していますが、特に冬場に流行します。発症してから通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長い時には1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。



<予防方法>

- ・ノロウイルスはアルコール消毒では効果がないといわれています。手洗いの際、特に帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんでよく洗い、流水で十分に流しましょう。
- ・ウイルスによる感染性胃腸炎では便や嘔吐物を処理する時は気を付けましょう。

感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

- ・細菌による感染性胃腸炎の予防対策を心がけましょう。

食中毒の一般的な予防方法【食中毒予防の三原則】食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理）です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

【学校感染症】

感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、条件によっては第3種の感染症の「その他の感染症」となります。出席停止期間の基準は「下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能」ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときはこの限りでない」と規定されています。

- 厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

- 高知県ノロウイルス対策マニュアル

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

★ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かくなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_ga.html

- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
5 類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	80 歳代 男性	中央東
	梅毒	1	4	20 歳代 男性	

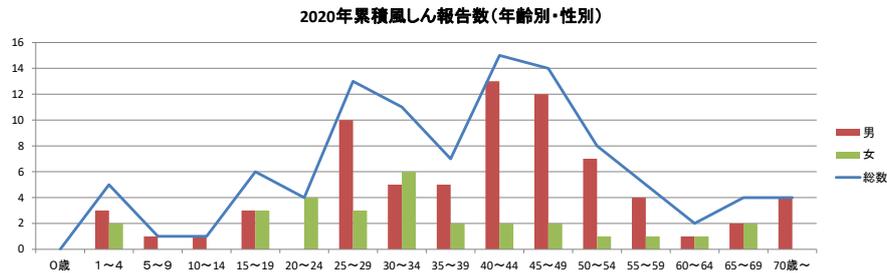
★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 2 例（1 歳女、7 歳女）
	JA 高知病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例（5 歳女） COVID-19 7 例
高知市	高知医療センター小児科	アデノウイルス 1 例（1 歳男）
	けら小児科・アレルギー科	ノロウイルス腸炎 1 例（6 歳）
		カンピロバクター腸炎 1 例（19 歳） アデノウイルス扁桃炎 1 例（1 歳）
	三愛病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 1 例（2 歳女）
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 4 例
	細木病院小児科	ロタウイルス 1 例（3 歳男）
須 崎	もりはた小児科	帯状疱疹 1 例（10 歳女）
幡 多	こいけクリニック	アデノウイルス咽頭結膜熱 2 例（1 歳男、2 歳女）
		ノロウイルス胃腸炎 3 例（0 歳女 2 人、2 歳女）

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2021年の累積報告数は12人（男性8人、女性4人）、2020年累積報告数は100人（男性71人、女性29人）となっており、そのうち87%（87人）が成人で、25歳から50歳代の男性が中心となっています。



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。

風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

- 対象者**
- ・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性
 - ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）
 - ・風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布
1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

検査結果：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします。

●厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

●無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2020051200219.html>

●風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

.....

○高知県の新型コロナウイルス感染症情報

高知県庁ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVIT-19.html>

高知県保健所別新型コロナウイルス感染症報告者数

		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	県外	総計
1月	24	月	1	3	40	7	1	6	58
	25	火	1	26	89	5	1	20	142
	26	水	6	14	74	10	2	13	119
	27	木	2	19	142	9	5	21	198
	28	金	3	26	107	11	7	20	174
	29	土		32	114	6	12	22	186
	30	日	1	22	118	9	6	13	169
	31	月	1	9	68	3	4	10	95
2月	1	火	1	50	172	10	2	28	263
	2	水	0	30	165	9	14	23	241
	3	木	4	47	161	23	7	17	259
	4	金	1	28	139	11	4	18	201
	5	土	3	32	174	19	7	13	248
	6	日	2	31	147	16	12	12	220
	7	月	2	11	98	13	5	7	136
	8	火	1	46	138	21	24	19	249
	9	水	2	31	188	19	10	14	264
	10	木	1	56	142	27	49	25	300
	11	金	3	39	198	16	46	8	310
	12	土	1	30	145	18	4	6	204
	13	日	1	42	163	22	36	7	271
14	月	2	18	111	8	9	4	152	
15	火	2	52	192	7	11	2	266	
16	水	2	36	160	16	29	3	246	
17	木	0	42	193	10	23	3	271	
18	金	6	33	161	9	7	6	222	
19	土	4	28	151	11	15	5	214	
20	日	4	26	116	4	18	1	169	
総計		190	1468	7286	656	517	556	3	10676

数字は各地域でその日陽性が確認された数

総計はR2年2月28日以降の報告者数

○感染性胃腸炎

(国立感染症研究所IDWR2022年第5号より)

感染性胃腸炎は多種多様な病原体による症候群名である。ウイルスが占める割合が多いが、細菌、寄生虫も本疾患の起因病原体である。細菌性のもものでは腸炎ビブリオ、病原性大腸菌、サルモネラ、カンピロバクターなど、寄生虫ではクリプトスポリジウム、アメーバ、ランブル鞭毛虫などがあげられる。ウイルス性のもものではノロウイルス、サポウイルス、アストロウイルス、ロタウイルス、腸管アデノウイルスなどがみられるが、その中でも、ノロウイルスによる感染性胃腸炎は特に冬季に流行することで知られている。

ノロウイルスはプラス一本鎖RNAウイルスで、GI～GXの遺伝子群（genogroup）に分類されGIとGIIが主にヒトに感染する。ノロウイルスの感染経路としては、患者の糞便や嘔吐物からヒトの手指を介する経路、家庭や施設などヒト同士が接触する機会が多いところでのヒトからヒトへ感染する経路、感染した食品取扱者（無症状病原体保有者を含む）を介して汚染された食品を食する場合の経路、汚染された食品や水を摂取する場合の経路などもあり、その感染力は非常に強い。またアルコールへの抵抗性が強く、感染予防のためには手洗いの徹底、糞便・嘔吐物の適切な処理等が重要である。感染から発症までの潜伏期間は概ね24

～48時間で、主な症状は吐き気・嘔吐、下痢、腹痛、発熱である。ノロウイルスは糞便および嘔吐物に大量に排出される。症状消失後も数週間、糞便中への排出が続き、1カ月以上排出が続く事例も報告されている。乳幼児や高齢者等では、嘔吐、下痢によって体力を消耗し、脱水症状を引き起こすこともある。特に高齢者では、嘔吐物による誤嚥性肺炎を起こすこともあるので注意が必要である。現在有効なワクチンはなく、治療法は対症療法となる。

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎は定点報告対象（5類感染症）であり、指定届出機関（全国約3,000カ所の小児科定点医療機関）は週ごとに保健所に届け出なければならない。感染性胃腸炎の週ごとの定点当たり報告数は、新型コロナウイルス感染症パンデミックが始まった2020年では、第9週以降、毎週、2010～2019年の同週の定点当たり報告数を下回ったが、2021年の第45週以降は、同じくパンデミック中であるものの、2020年の同週の定点当たり報告数を大きく上回り、第49～51週は、2019年の同週の定点当たり報告数を上回った。なお、2022年第1、3、4週も、2019年の同週の定点当たり報告数を上回り、第2週以降は毎週、過去5年間の同時期の平均値（前週、当該週、後週の定点当たり報告数の5年間分、合計15週間分の平均値）を上回っている。地理的な流行の推移をみると、第1週より報告の多くが九州地方からなされているが、全国からも多くの報告がなされている。定点当たり報告数の上位5位を都道府県別にみると、第1週は大分県、宮崎県、熊本県、佐賀県、兵庫県、第2週は山形県、熊本県、宮崎県、佐賀県、大分県、第3週は大分県、山形県、宮崎県、佐賀県、宮城県、第4週は大分県、山形県、香川県、福井県、宮崎県、第5週は大分県、福井県、山形県、香川県、三重県であった。直近の第5週（2022年1月31日～2月6日）の定点当たり報告数は5.74となり、前週（7.10）よりは減少したものの、過去5年間の同時期の平均値（前週、当該週、後週の定点当たり報告数の5年間分、合計15週間分の平均値）を上回っており、引き続き発生動向を見守る必要がある。

2022年第1～5週に報告された101,359例における年齢群別割合では1歳が17.3%、2歳が16.5%、3歳が13.1%、4歳が9.8%、5歳が7.6%の順となっている。男女別割合では小児（15歳未満：累積報告数92,997例）の年齢群において男性が54.1%とやや多かった。

ヒトに由来する感染性胃腸炎ウイルスとして検出された病原体の中では、2020年以降も例年通り、ノロウイルスGIIが多くを占めた。また、2021年2月に、同一の調理従事者が勤務した複数の飲食店で発生した食中毒事例においても、ノロウイルスGIIが検出された。

新型コロナウイルス感染症パンデミック下の2022年2月9日現在では、感染性胃腸炎の定点当たり報告数は例年並みであり、ノロウイルスがその多くを占めている。ノロウイルスによる食中毒及び感染症の発生を防止するためには、ノロウイルスに関する正しい知識と予防対策等についての理解が欠かせない。厚生労働省は、「ノロウイルスに関するQ&A」、「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）」を作成し、手洗いや糞便・嘔吐物の適切な処理等の感染予防対策の徹底を呼びかけている。また、「ノロウイルスの感染症・食中毒予防対策について」などの通知を定期的に発出し（2020年12月10日）、注意を喚起している。

厚生労働省は、食中毒の患者並びに食中毒死者の発生状況を的確に把握し、また複雑な発生状況を解明することを目的として食中毒統計調査を実施し、集計結果を公表している。調理従事者を介した食品汚染による食中毒を防ぐためには、食品取り扱い施設での手洗いや、作業衣・手袋の着用などを含めた基本的な衛生管理、および調理従事者の健康管理の徹底が望まれる。なお、食中毒の原因を早期に究明し拡大を防止するために、厚生労働省は2016年11月24日に「ノロウイルスによる食中毒の予防及び調査について」の通知を発出している。

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2022年2月21日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(57定点医療機関)

定点名	疾病名	保健所	第7週 令和4年2月14日(月)～令和4年2月20日(日)							高知県衛生環境研究所		
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(6週)	高知県(7週末累計) R4/1/3～R4/2/20
インフルエンザ	インフルエンザ							()	()	37 (0.01)	9 (0.19)	313 (0.06)
小児科	咽頭結核熱			4	1		2	7 (0.25)	()	409 (0.13)	34 (1.13)	3,388 (1.08)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			5	2	1	1	9 (0.32)	4 (0.14)	997 (0.32)	71 (2.37)	8,208 (2.61)
	感染性胃腸炎	3	22	38	25	5	30	123 (4.39)	123 (4.39)	14,269 (4.55)	992 (33.07)	115,765 (36.88)
	水痘			2				2 (0.07)	1 (0.04)	180 (0.06)	18 (0.60)	1,656 (0.53)
	手足口病		2					2 (0.07)	()	422 (0.13)	5 (0.17)	5,068 (1.61)
	伝染性紅斑							()	()	38 (0.01)	3 (0.10)	243 (0.08)
	突発性発疹		2	3	1	1		7 (0.25)	5 (0.18)	716 (0.23)	56 (1.87)	5,044 (1.61)
	ヘルパンギーナ							()	()	69 (0.02)	1 (0.03)	961 (0.31)
	流行性耳下腺炎			1				1 (0.04)	1 (0.04)	54 (0.02)	4 (0.13)	446 (0.14)
	RSウイルス感染症							()	2 (0.07)	824 (0.26)	3 (0.10)	6,860 (2.19)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	1 ()	()	20 (0.03)
	流行性角結膜炎							()	()	83 (0.12)	3 (1.00)	694 (1.00)
基幹	細菌性髄膜炎		1					1 (0.13)	1 (0.13)	6 (0.01)	2 (0.25)	36 (0.08)
	無菌性髄膜炎							()	()	4 (0.01)	()	35 (0.07)
	マイコプラズマ肺炎							()	()	4 (0.01)	()	24 (0.05)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	()	2 ()
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)			1				1 (0.13)	()	3 (0.01)	3 (0.38)	25 (0.05)
計 (小児科定点当たり人数)		3 (1.50)	27 (3.72)	54 (5.88)	29 (9.66)	7 (3.50)	33 (6.60)	153 (5.39)		18,116	1,204 (39.76)	148,788
前週 (小児科定点当たり人数)		2 (1.00)	36 (5.00)	45 (4.99)	19 (6.33)	10 (5.00)	25 (5.00)		137 (4.86)			

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(57定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第7週							高知県衛生環境研究所		
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(6週)	高知県(7週末累計) R4/1/3～R4/2/20
インフルエンザ	インフルエンザ									0.01	0.19	0.06
小児科	咽頭結核熱			0.44	0.33		0.40	0.25		0.13	1.13	1.08
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.56	0.67	0.50	0.20	0.32	0.14	0.32	2.37	2.61
	感染性胃腸炎	1.50	3.14	4.22	8.33	2.50	6.00	4.39	4.39	4.55	33.07	36.88
	水痘			0.22				0.07	0.04	0.06	0.60	0.53
	手足口病		0.29					0.07		0.13	0.17	1.61
	伝染性紅斑									0.01	0.10	0.08
	突発性発疹		0.29	0.33	0.33	0.50		0.25	0.18	0.23	1.87	1.61
	ヘルパンギーナ									0.02	0.03	0.31
	流行性耳下腺炎			0.11				0.04	0.04	0.02	0.13	0.14
	RSウイルス感染症								0.07	0.26	0.10	2.19
眼科	急性出血性結膜炎											0.03
	流行性角結膜炎									0.12	1.00	1.00
基幹	細菌性髄膜炎		1.00					0.13	0.13	0.01	0.25	0.08
	無菌性髄膜炎									0.01		0.07
	マイコプラズマ肺炎									0.01		0.05
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)			0.20				0.13		0.01	0.38	0.05
計 (小児科定点当たり人数)		1.50	3.72	5.88	9.66	3.50	6.60	5.39			39.76	
前週 (小児科定点当たり人数)		1.00	5.00	4.99	6.33	5.00	5.00		4.86			

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2022年 第7週)

